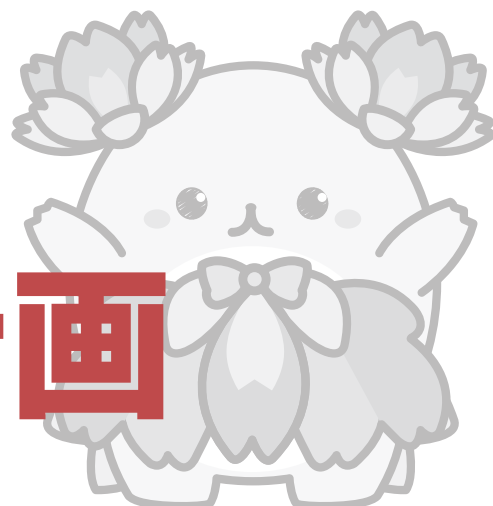


令和8年度～令和10年度

第9次

総合 3カ年計画



令和8年6月27日開催の「第24回通常総代会」の決議を受け、JA北河内は「持続可能な地域の都市農業の振興」「豊かなくらしの支援と地域貢献」「健全経営による信頼の確保」の三つの柱を基軸とした「第9次総合3カ年計画」をスタートさせました。

第9次総合3カ年計画の三つの柱

持続可能な地域の都市農業の振興

豊かなくらしの支援と地域貢献

健全経営による信頼の確保

持続可能な地域の都市農業の振興

基本方針

地元農産物の地域への提供を基軸に、次世代への農業継承、安全・安心な農産物の販売、自然環境に配慮したアグロエコロジーに積極的に取り組み、環境負荷を軽減する都市農業の新たな価値創造を図るとともに、営農経済事業の収支改善により事業基盤の強化に取り組みます。

ビジョン VISION 1

安全・安心な地元農産物の安定的な供給により地産地消が拡大している。



意欲ある新規・既存生産者を対象に、伝統野菜等の有機・高付加価値農産物の生産と販売体制づくりの確立を図る。

ビジョン VISION 2

共同利用施設が安定的・効率的に運用できている。



共同利用施設老朽化や担い手不足で負担増となる共同利用施設を整備・更新し、事故リスクを低減しつつ地域農業と食の継続的生産基盤を確保する。

ビジョン VISION 3

環境負荷を軽減する地元農産物の付加価値創造が図られている。



エコレンゲ栽培米の高温耐性品種への移行と高付加価値化を進め、集荷・販売体制整備や次代品種の研究開発に取り組む。

豊かな暮らしの支援と地域貢献

基本方針

組合員・地域住民が「しあわせ」と「いきがい」を実感できる豊かな暮らしを提供します。

そのために、総合事業を通じて固定観念にとらわれない新たな発想で、組合員・地域住民の暮らしに寄り添った事業活動を展開します。

また、多様化する社会において、世代に応じた様々なサービスに取り組んでいきます。

ビジョン

VISION 1

業務管理体制の見直しと総合事業の発揮に向けた体制を構築している。

(人を活かし、活かされる仕組みづくり)



支店業務(渉外・窓口)の機能性・合理性・網羅性のあるサービス提供と業務体制の仕組みづくり。



「しあわせ」と「いきがい」をキーワードに支店の若手職員のアイデアを事業に反映できる仕組み創り。



組合員の資産を守る活動を行う。

ビジョン

VISION 2

デジタル環境を整備し、組合員・利用者の利便性が向上している。



デジタルツールの利用率をあげ、利便性を向上させる。

健全経営による信頼の確保



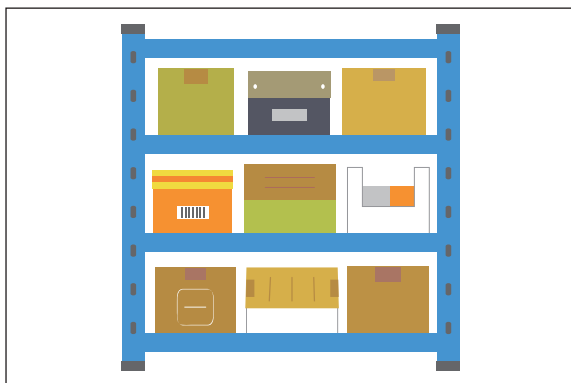
基本方針

事業利用を通じて「組合員満足」を実現するためには、健全な財務基盤が必要なことは言うまでもありません。そのために各事業において事業量の目標を達成するために多様なニーズに対応し、事業内容の変革を図り、経営基盤の確保に努めてまいります。

ビジョン

VISION 1

職員一人一人に「改善する習慣」が身についており、6S^(注)を実践することにより、働きやすい職場環境になっている。



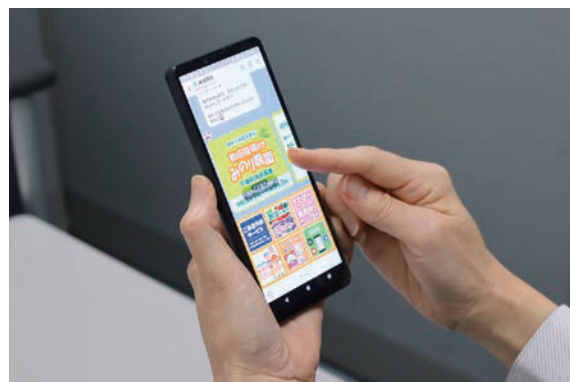
仕事の仕組み・ルールを見直す6Sサークル活動を実践することで、業務改善を行う。

(注)6Sとは、整理・整頓・清掃・清潔・しつけ・改善する習慣。これは、単なる美化運動ではなく、企業品質管理・経営管理の基本となるもの。

ビジョン

VISION 2

組合員・地域住民に、都市農業やJAの必要性の理解が進み、共感の輪が広がり、事業量が拡大している。



SNSを中心に農業の役割やJA事業推進等への共感を得る情報を発信し、AI技術を活用した分析を行い、効率的・効果的な情報発信を行う。

ビジョン

VISION 3

「貯蓄から投資へのシフト」への対応

「JAバンクで NISAをはじめませんか？」

始めるのは今からでも遅くない！

そもそもNISAとは？

あなたのライフプランの組み立てに欠かせないのが、国が作ったNISA制度です！

NISAは国民の貯蓄意欲を高め、企業に資金を供給する仕組みです。NISA口座は、投資信託、株式、債券、商品先物等の金融商品から構成され、利得が非課税となる制度です。NISA口座は、NISA口座を開設した金融機関を通じて、NISA口座に投資を行うことができます。

約5人に1人...がNISA口座を保有しています！

NISA口座を開設するメリットは、NISA口座に投資した金融商品の利得が非課税となることです。NISA口座は、NISA口座を開設した金融機関を通じて、NISA口座に投資を行うことができます。

「貯蓄から投資へのシフト」に対応し、顧客のライフプラン形成に貢献できる体制を作る。

ビジョン

VISION 4

デジタル技術の活用により、アナログ作業を減らし、組合員ニーズに応える提案に取り組むとともに業務の効率化に向け「早く・正確に・迷わず」業務を進める体制を構築する。



DXに取り組み、「アナログ作業のデジタル化」「自動化の推進」「仕事の見える化」「情報共有の効率化」を進める。